

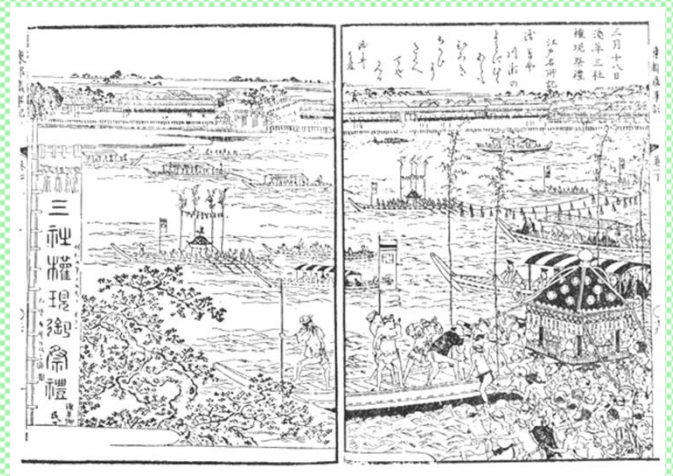
児童朝会 校長の話 5月8日

浅草の町で5月と言えば、三社祭ですね。日本を代表するお祭りです。3年間コロナウィルス感染症のためにできなかったのが4年ぶりです。5月19、20、21日に行われます。浅草小学校では地域の大切なお祭りについて、みんなが学べるように「地域文化を学ぶ会」を19日に行います。



三社祭は700年前から続くお祭りで、鎌倉時代の終わり頃に始まったと言われています。浅草神社には、3基の御神輿があり、3体の神様が祀られています。一之宮は土師真中知、二之宮は檜前浜成、三之宮は檜前竹成です。どうしても3人かは、「地域文化を学ぶ会」で地域の方がお話してくださると思います。

三社祭はもともと舟祭りで、舟に神輿を乗せて川を上って運んでいました。これは江戸時代に描かれた絵です。舟がたくさん出てその上に神輿が乗っています。浅草神社から二天門を出て浅草橋まで運びそこから隅田川に浮かべて、浅草神社まで川を上ったそうです。



明治時代からは舟祭りを止めて、町の中を神輿を担いで練り歩くようになりました。

三社祭は担ぐ人、担ぐ順番を待っている人、お祭りを見る人でとても多くの人たちが集まってきます。コロナウィルス感染症が広がる前は、3日間の合計で、全国



から180万人が訪れていたそうです。今年はそんな賑やかな三社祭が戻ってきます。自分の町会の神輿を担ぐ人もいるでしょう。浅草小学校ではPTAの方々にお世話になって花川戸1丁目町会の子供神輿を担がせていただきます。みんなでお祭りを楽しみましょう。

